

# 今支館・分館では

## 『紙粘土&クラフト教室』

— ひばりヶ丘分館 —

北大井支館内の15分館の中で、常に積極的且つ熱心な公民館活動をされているのが、ひばりヶ丘分館だと感じてきました。10月30日(日)午前10時からの紙粘土&クラフト教室は、いったいどの様に行われるものか大変興味を持って取材に伺いました。ひばりヶ丘区は、近年新しく家を建てられ移住して来られた住人の方が多く、市内では比較的若い世代の人が多くと聞いています。会場の公民館に向くとすでに役員の皆さんとお母さん達がせっせと会場作りに励んでおられ、参加する子ども達は幼稚園生を含め20名とのことでした。子ども達の表情は早く工作に取り組みたいと心待ちの様子です。冒頭に西沢公民館長から挨拶があり、次に日頃からボランティア活動をされておられる長岡夫妻が



クラフト

クラフト教室の説明をした後、子ども達は思い思いの材料をテーブルに運び工作活動を始めました。子ども達の自主性を重んじ自由な創作ができるよう大人達は手伝わぬのが肝心とのこと。付き添いの親達は脇で子ども達を見守っているだけです。紙粘土やクラフトの材料は、驚く程豊富で色々な素材が用意され、子ども達は創作意欲いっぱいでも組み立てたり壊したりの思考の末、徐々に思い思いの形となってきました。紙粘土では色々な粘土を組み合せ、ビーズやビー玉などを埋め込んだ作品が、クラフトでは木片に

木の実やドライフラワーなどを接着した幾つもの作品が出来上がりました。



紙粘土

これらの子ども達の作品は11月12日(土)13日(日)に公民館で開催される「なんでも展示会」の場で大人達の作品と共に展示され、地区の皆さんにお披露目されてから子ども達に返されるとのことでした。

西沢館長のお話では、この様な子ども達への活動を15年前から開催してこれたとのこと。公民館役員とお母さん達が、協力し合い地区の子ども達の情操教育を育んでこれたご苦労に頭が下がる思いと伴に、子どもが多く、活気があるひばりヶ丘の皆さん達が大変うらやましく思いました。

編集委員 竹節 正勝

## 五行歌

### 『もろ五行歌の会』

南澤 咲子

洗面台の

ガラスの瓶に

コスモスを一本挿す

ちよっと

美人になった気分

荻原 葉子

娘さんですかと聞かれ

(お嬢だよ)と

九十六の父は宣う

しかと受け取ったよ

娘への愛

井出 正子

生まれました

孫という希望の星が

小さな顔

細い指

すべてがかわいい!

町田 実

山盛りにして返すんだよ

一合でも借りたら

と、母の生きかた

思い出す

新米の季節

引地 庸

見下ろす里は

黄金色

みなが幸せは

峠を下るまでの

幻想に過ぎない

大橋 克明

余震が続く

朝

鳥が鳴いて

山野にあふれるばかりの緑

今日も あたりまえの一日